

JVA加盟全国連盟

2013年2月25日

公益財団法人日本バレーボール協会  
会長 中野 泰三郎

実態調査、指導者宣誓、標語キャンペーンでのご協力の要請（お願い）

公益財団法人日本バレーボール協会（JVA）は、バレーボールのさらなる健全な発展を目指し、昨年「指導者による倫理ガイドライン」を制定致しましたが、更に本年2月18日の理事会で、体罰・暴力、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメントの根絶に向けた努力を加速することを確認いたしました。

各加盟全国団体による、（1）指導現場での実態調査、（2）指導者による倫理ガイドラインの誓約、（3）標語キャンペーンの展開、（4）各種講習会・研修会におけるこの問題の必修化、相談窓口の設置などを活動の柱とする考えです。つきましては、貴団体におきましても下記の活動を推進いただくよう、お願いいたします。

#### （1）実態調査

貴団体登録全チームの代表者に対するアンケート調査を別紙の様式で実施し、3月11日（月）迄に、JVA国内事業本部宛てに、別紙集計表に記入のうえ報告して下さい。もし3月11日までに、全チームから調査結果を回収出来ない場合には、途中経過を必ず報告して下さい。

#### （2）指導者宣誓（誓約書にサイン）

貴団体登録全チームの指導者・顧問に対する下記の文面での倫理ガイドライン遵守誓約の義務づけ、この誓約書の提出を、チーム登録の条件として下さい。

「私は指導に当たって、公益財団法人日本バレーボール協会（JVA）の定める『倫理規程および』および『指導における倫理ガイドライン』を理解し、その遵守を誓います。一切の体罰・暴力、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメントを否定し、選手の人格と人権を尊重しながら、健全なバレーボールの発展に貢献し、社会の良きシンボルとして信頼されるよう努めます。  
〇年〇月〇日 〇〇学校 △△△△部 責任者（顧問・部長・監督）〇〇〇〇」

### (3) 標語キャンペーン

貴団体登録全チームの選手に標語を募集し、それを決定する。例えば小学生連盟なら、小学生自らの言葉による「楽しくなきゃバレーじゃない」「選手自身が考えるバレーは強い」など。バレーボールの楽しさ、反暴力に直結する標語を各連盟で3～5つ整え、大会で掲示して下さい。各チームの練習でも可能な限り体育館に掲げることを義務付けて下さい。各チームが独自の標語を持つことも認めます。

### (4) 講習・研修会で取り上げるテーマ

指導における倫理ガイドラインの根幹を形成するテーマを明確化し、研修会や討論会を開いて下さい。以下はサンプルです。

- 「激励の言葉と罵倒の違い」
- 「話しても選手が理解しないとき」
- 「選手の自覚と自立を促すには」
- 「選手に規律を植え付けるには」
- 「選手自ら考えるバレー」
- 「監督の権威は必要か」
- 「選手の人格尊重」
- 「指導者の規律」
- 「手を上げて何も解決できない」

(了)